

資料 7

みどりの推進課報告事項(8月)

平成こども塾プログラム

平成30年8月25日現在

No.	日(曜日)	プログラム名	定員	子ども	大人	未就学	備考
1	4日(土)	こどもファーム	年間会員35	16	16	4	
2	4日(土)	川でガサガサ生きものしらべ	25	24	18	5	応募総数32人
3	5日(日)	古式水鉄砲作り	15	14	16	4	応募総数20人
4	11日(土)	こどもファーム	年間会員35	10	8	3	
5	17日(金)	夏の夜空の観望会	30名(保護者含む)	10	7	0	16日予定だったが、天候悪く17日に延期。応募総数60人
6	18日(土)	こどもファーム	年間会員35	9	10	2	
7	19日(日)	万華鏡作り	25	24	24	6	応募総数35人
8	25日(土)	こどもファーム	年間会員35	17	17	6	

学校連携プログラム

No.	日(曜日)	プログラム名	子ども	大人	備考
1	23日(木)	現職教育研修 (南小)	0	24	竹細工、かまど利用
2	24日(金)	現職教育研修 (西小)	0	16	竹細工、かまど利用

平成30年度平成こども塾事業進捗状況管理表

事業名	課題	目標	実施項目	進捗状況・結果	年間スケジュール												備考
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1 学校連携プログラム実施事業	現在の生活の中では、児童同士や世代を超えたコミュニケーションが難しくなっている。	満足度90%から95%を保ち続ける。 (学校連携プログラム数:全67回)	・チームによる活動を重視し、共同作業・助け合いを行うことによりコミュニケーション能力を高める。 ・里山の自然環境を知り、自分達で火を起こして調理することで楽しく充実した体験活動を実施する。	・南小、西小学校の現職教育研修で、竹細工とかまどを利用した研修を実施した。 ・内容としては、竹で器を作り、更にそうめんの流し台を教職員で協力して製作した。 ・かまどでは、ピザを調理した。 満足度 アンケート提出待ち					学校連携プログラムの実施		学校連携プログラムの実施	現職教育研修					学校連携プログラムの実施
2 サポートアートプログラム実施事業	自然体験活動や地域の伝統文化を体験する機会が減っている。	満足度90%から95%に保ち続ける。 (サポート隊委託プログラム、サポート自主プログラム数:110回)	・体験プログラムを班分け時に工夫し、異年齢交流の促進を図る。 ・里山の自然環境や地域の文化を学びながら楽しく充実した体験活動を実施した。	天候に左右されやすい屋外プログラムが多くあるため、 ①雨天時に臨機応変に対応した。(星空観望会では延期にする等) ②好天・雨天ともに参加者が楽しめるよう事前打ち合わせを綿密にした。 ③講師に任せきりにならないよう、職員も子どもの観察・見守りを行った。													
3 サポート隊員育成事業	サポート隊員の後継者が育っておらず、高齢化が進んでいる。	新規加入者2名を目指す。	・新規加入者を増やすための、大人のプログラムの実施。(南木曽木工教室を10/28に実施予定) ・「里山活動を考えるワークショップ」での勧誘(5回予定) ・口コミ勧誘の継続	・「里山活動を考えるワークショップ」と協働し、参加者をこども塾の活動に勧誘する。 ・7月中旬から参加し始めた大学生(男子1名)は、こどもファームに3回程度参加している。経過を見守っている状況である。 大学生男子: サポート隊活動を体験					里山活動を考えるW.S. →					大人プログラム実施			